

新着図書情報

泗水図書館



天璋院篤姫 上・下 宮尾登美子 著
薩摩藩主、島津斉彬に天賦の才を見いだされ、養女に迎えられた於一（おかつ）こと後の篤姫。激動の幕末、徳川13代將軍家定に嫁ぎ、夫の亡きあと、江戸城大奥三千人の総師となり、時代の最期に立ち会う…。2008年NHK大河ドラマ「篤姫」原作本。

てれんぱれん

青来有一 著

仕事もせず、ふらふらと頼りない父。被爆し九死に一生を得てから、不思議な力が備わったという。幼いころ同じ力を受け継いだ「わたし」にある日、初老の女が近づいてきて平凡な日常がかき乱されていく…。長崎を舞台にした心を揺さぶる父娘の物語。

三面記事小説

角田光代 著

ワイドショーで取り上げられ、騒がれる三面記事。記憶の隅に追いやって「あーあったなあ。そんな記事」と他人事ですまされないかも。誰もが滑り落ちるかもしれない記事の向こう側の世界。実際の事件を発想の発端にした悲しい現代を切り取った問題作。

さよなら、そしてこんにちは

荻原浩 著

TV番組の健康コーナーを日々チェックし、仕入れに追われる食品売り場の責任者。若い妻と娘にクリスマスパーティをせがまれる住職など…。世のため、人のため、家族のため、働き者ほど翻弄される。その悲哀を描いた傑作集。

1995年のスモーク オンザ ウォーター

五十嵐貴久 著

順風満帆に過ごしてきた今までの人生。ところが最近、何だかおかしい。かみ合わなくなってきた夫や息子。そんな折、台風のような幼なじみ、ゆかりが現れて「ねえバンドやらない？」の一言から幕を開けるオバサンバンド。めざすは、あの名曲！ロック魂が暗い世相に殴りこみかけるたっぶり笑えて頂ける家族小説。



アリーの物語 女騎士アランナの娘3

タモラ・ピアス 著

「女騎士アランナ」シリーズから時を経て始まる娘の物語。伝説の騎士アランナの娘として生まれ成長したアリー。スパイになることを認めてもらえず、家を飛び出してしまふ。愛する家族や故郷から遠くはなれ、奴隷となったアリーの冒険第3弾。

全記録 炭鉱

鎌田聡 著

労働者の状況は、かつての炭鉱労働者に似て、危険に晒される仕事や身分不安定な労働者の事故・病気が増え、自殺者も増加している。無権利、過労死（自殺）、今の「絶望工場」を希望に変え、かつての日本の労働者の原点をみつめ、喜び・悲しみ・希望と苦悩の歴史を学ぶ為にもおすすめの一冊。

ちひろ 絵に秘められたもの

松本善明 著

平和を愛し、すべての子どもの幸せを願ったいわさきちひろ。死後33年がたった今でもその優しいまなざしで描かれた絵は、世界中の人々に愛され続けている。画家としての、また一人の人間としてのちひろが絵に秘めた思いを24年余り連れ添った夫が慈愛と尊敬を込めて綴った一冊。

奇想遺産 世界のふしぎ建築物

鈴木博之・他 著

日々の生活では思いつきもしないような「奇想」に基づいて構築された建築物を、建築家の鈴木博之・藤森照信らが世界中から選んで紹介する。ここから見て、なんだかへん！自由で多様な価値観に彩られた世界のふしぎな建築物にまつわる77の物語。

幸せさがし

鎌田實 著

病気になった時、挫折した時、いきづまった時、人はどの様にしてピンチを乗り越えていくのだろうか。あるがままの自分を見つめ、自分自身を生きていく。生き方はひとつではない。あたりまえの生活のひとコマの中に、幸せの宝物がまつまっていることにきつと気がさせてくれる医療エッセイ。

ぞうのせなか

あきもとやすし 作/あみなかいづる 絵

「ポッポには見えなくても、お父さんはずっとポッポのそばにいるよ。」命の終わりを悟った象のお父さんは幼い息子のポッポに生きるための様々な知恵と力を授けようとしています。親から愛を受け、自分の愛を子どもに伝えていく命の連続性に気づき、死をとおして生を考える絵本。

もったいないことしてないかい?

真珠まりこ 作

朝日小学生新聞の連載で大人気！もったいないのセリフと共にあおちゃんの知恵袋をコミカルなイラストと共に紹介。手掘り、落ち葉など秋冬をテーマに、今日もあのもったいないばあさんがやってきた。もったいないことしてないかい？ものを大切にすることを育てる絵本。

こんにちはさようならのまど

ノートン・ジャスター 文/クリス・ラシュカ 絵

おじいちゃんとおばあちゃんの家にある台所の窓は、私にとって特別な窓。お気に入りの窓を通して、おじいちゃん・おばあちゃんとのあたたかな心のふれあいを、子どもの視点から見事に描いた2006年コールデコット賞受賞作。



パパ、お寿司たべたい！親子で学ぶネタ図鑑

入江和夫 著

中トロ、イカ、エビ、タマゴ焼き…。お寿司って少しずついろんな味が楽しめるからおもしろい！でも、知ってるかな？お寿司をもっと美味しく食べる方法。「旬」を知ると、そのおいしさが何倍にもなるって事を。お寿司が大好きな君たちへ「寿司屋デビュー」への徹底ガイド。

お皿のボタン

たかどのほうこ 著

高橋家のかざりだなの上にある一枚のお皿。そこにはいろいろなボタンたちが暮らしています。舞台衣装の高級ボタンだったホワイト夫人、園児服から脱走してきたタビちゃん、謎の黒岩ジョー。彼らはどうしてこのお皿に来たのでしょうか。個性あふれるボタンたちの人生のおはなし。

中央公民館図書室

青い鳥

重森清 著

中学校の非常勤講師をしている村内先生は、うまくしゃべることが出来ない。いじめ、学級崩壊、親から愛されることのない生徒など、「ひとりぼっち」になってしまった生徒たちのもとへ授業よりも「たいせつなこと」を教えるために村内先生は学校へ行く。

愛に似たもの

唯川恵 著

ずっと賢い選択をしてきたと思っていたが、夫の左遷を機に、自身の生き方に疑問を抱くようになった広子。結婚に焦り始めたころ、自分に好意を持っている男性に、それまでの恋愛経験を活かして接する美郷だったが…。8人の女性のつまずきながらも生きる姿を描いた短編集。

フーさん

ハンヌ・マケラ 作/上山美保子 訳

子どもを驚かせるのが仕事のフーさんは、全身黒ずくめで、オバケなのか魔法使いなのか、正体不明。そんなフーさんは、驚かした女の子にケラケラ笑われても上手くいったと勘違いするなど、ちょっと風変わり。フィンランドで人気の児童書、待望の日本語訳。



ぼくには数字が風景に見える

ダニエル・タメット 著/古屋美登里 訳

円周率のヨーロッパ記録を樹立したダニエル。彼には、数字に色や形が見え、円周率の暗唱をしている時、それは美しい風景が広がっているように見える。そんな彼はサヴァン症候群であり、同時にアスペルガー症候群でもあった。家族や仲間たちの愛情、彼自身の苦悩と自立を描いた感動の手記。

りんごごご

庄司三智子 作・絵

りんごは仲間を探してかけ出します。そこで見つけた、いちご、だんご、それからたまごにいなご仲間になって、ごごごと走ります。ほかにもたくさんの仲間と手をつないで、りんごはとにかく走ります。どこまでも、どこまでも。ことばあそびの絵本。

へんしんする時の言葉もおもしろいですが、へんしんトイレの絵も入ると「こま」になります。



へんしんトイレのほかにへんしんトンネルという本もあります。とつてもおもしろくて何回読んであきませません。へんしんする時の言葉もおもしろいですが、へんしんトイレの絵も入ると「こま」になります。

私の推薦



山口恵奈さん (七城小2年)

あきやまただしさく

へんしんトイレ

目より情報

初春に歌を詠むコーナー

短歌には千年以上の歴史があります。美しい日本の言葉を使った短歌や俳句を自分の言葉で詠んでみませんか？歌詠みをして城に上がったお姫様の絵本「ぼんさらや」の切り絵原画も展示しています。(泗水図書館)

むかしあそび

1月20日(日)午後2時からのお楽しみ会は、カルタ、ふくわらい、お手玉など、なつかしい遊びをします。どなたでもお気軽にお越しください。(泗水図書館)



門松を飾るのは何故?

昔から木の枝などに、神様が宿ると考えられてきました。そこで、家族の健康や豊作を願い、山からおりてくる神様の目印になるように、家の門口(かどぐち)に松や竹を飾るようになりました。また、松には「神様をまつ(待つ)」という意味もこめられていたようです。(中央公民館図書室)

ジョン万次郎、琉球へ

初めてアメリカに渡った日本人・ジョン万次郎。アメリカで勉強し、生活しますが、日本が恋しくなり帰ることにしました。1851年1月3日に、沖縄へ上陸。その後は、通訳としても活躍し、開成学校(現・東京大学)の英語の教授になりました。図書室に伝記を所蔵しています。この機会に読んでみませんか？(中央公民館図書室)

問い合わせ先
中央公民館図書室 ☎ (25) 1672
七城公民館図書室 ☎ (25) 1580
旭志公民館図書室 ☎ (37) 3111 内線 303
泗水図書館 ☎ (38) 6866

1月の予定

Table with 5 columns: Date, 中央公民館 図書室, 七城公民館 図書室, 旭志公民館 図書室, 泗水図書館. Rows show monthly schedules for various activities and library hours.